

清瀬高校 平成30年度 【政治・経済】 年間授業計画

【教科】 公民科

【科目/講座】 政治・経済

【対象】 第3学年 1組～7組

【単位数】 2

【使用教科書】

高校政治・経済（実教出版）

【使用教材】

最新図説 政経（浜島書店）、政治・経済用語集（山川出版社）、ベストセクション政経（実教出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1 現代の経済 (4) 世界経済と日本 ア 資本主義世界経済の展開	第2次世界大戦後、アメリカに経済力が集中し、資本主義世界経済の枠組みがつくられたことを考察する。 アメリカの経済力の相対的地位の低下により、資本主義世界経済の枠組みが変化してきたことを考察する。 現代世界経済が経済的先進国の国際政策協調により支えられていることを考察する。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	(1) 経済社会の変容 ア 経済活動と経済社会の発達	経済活動における生産の役割、及び生産における労働の意義について理解させる。 生産手段の所有制限によって経済体制が区分できることに着目させ、経済社会の発達について理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
5月	イ 資本主義経済の一般の特徴	社会的分業による生産と生産手段の私的所有を特徴とする資本主義経済では、商品を貨幣と交換し、貨幣で必要な商品を手に入れるしきみをとっていることを理解させる。 資本が生産過程を経ることによって利潤を生み出すことを、資本の循環の分析を通じて理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	(2) 現代経済のしきみ ア 企業と市場機構	企業・家計・政府は、国民経済の中でどのような役割をはたしているか理解させる。 市場ではどのようにして需要と供給の不均衡が調整されていくかを理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
6月	ウ 国民所得と経済成長	国民経済を全体的に把握する際、フローとしての国民所得とストックとしての国富という2つのとらえ方があることを理解させる。 名目経済成長率と実質経済成長率の考え方を理解させる。 景気循環の各局面の特徴を理解させ、こんにちではそれがどのように変容しているか政府の政策と関連づけて考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	エ 金融のしきみ	金本位制度と管理通貨制度のちがいを理解させ、管理通貨制度の長所と問題点を考えさせる。 企業の資金調達のやり方において直接金融と間接金融との違いを理解させる。 中央銀行が物価や景気の安定のために金利を調整する金融政策のしきみを理解させる。 金融の国際化の中で進んでいる金融の自由化の動向について理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用 の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
7月	オ 財政のしくみ	財政のしくみの理解を通じて、政府が経済に介入することの意義と限界を理解させる。 租税制度や所得の再分配のしくみが、民主主義の考え方に基づいてつくられていることを理解させ、今日の財政が抱えている問題点を考えさせる。 国債の大量発行が何によってもたらされ、どのような影響を経済に与えているのか考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
9月	(3) 現代の国際政治 ア 国際連合と国際協力	国際連合はどのような原則のもとに設立されたか、どのような問題点があるかを考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	イ 現代国際政治の動向 ウ 国際平和と地域紛争	東西冷戦の終結によって世界の安全保障にどのような変化が生まれたか考えさせる。 東西冷戦下において動き出した軍備管理はどのように展開していったか理解させる。 ナショナリズムの強まりと地域紛争の多発について、それらの歴史的要因を考えさせ、国際社会はどのように対応すべきか考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
10月	エ 国際政治と日本	日本の国際社会への復帰はどのようにして行われたか理解させる。 日本の外交はどのような原則に基づいて行われているか理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
	2 現代の政治 (1) 日本の政治機構 ア 国会 イ 内閣	日本の政治機構は、権力分立と議会制民主主義を基本原理として構成されていることを理解させる。 日本の三権分立の特徴を理解させ、どのようなしくみによって権力の濫用を防ぎ、国民の権利や自由を守ろうとしているかを考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
11月	ウ 国会 エ 内閣 オ 裁判所	日本の国会のしくみを理解させ、議会制民主主義が民主主義として機能するための条件を考えさせる。 内閣および内閣総理大臣の地位と権限を理解させ、政府に対する民主的コントロールのあり方を考えさせる。 国民と司法の関係がどのようにつくられているかを理解させ、国民の司法参加の課題について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	カ 地方自治 (2) 現代日本の政治 ア 戦後政治の歩み	地方公共団体の組織と権限について理解させ、「地方自治の本旨」の意義を考えさせる。 今日の地方分権改革の動向を理解し、行政事務と地方財政の課題について考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
12月	イ 政党と選挙	地方自治が「民主主義」の実践の上で果たす役割について考えさせ、地方自治の意義を考察させた上で、選挙のしくみについて理解させる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	ウ 行政機能の優位と官主導社会	中央官庁の官僚機構が政策決定に大きな役割を果たすようになった背景を理解させる。「官主導社会」を転換させるために近年どのような取組みがなされてきたかについて考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	4
1月	(3) 現代経済と福祉の向上 ウ 社会保障の役割	社会保障が生存権の保障という理念のもとで発達してきたことを理解させる。日本の社会保障制度がどのようにして発達してきたか理解させる。少子高齢社会を向かえ、私たちの前にはどのような課題があるのか考えさせる。	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解 小テスト、レポート提出	2
	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	6
2月	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	4
	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	4
3月	受験講座	受験対策	a.関心・意欲・態度 b.思考・判断 c.資料活用の技能・表現 d.知識・理解	2